

駒ヶ根市議会こども未来会議（中学生議会）提案書

上記提案書を駒ヶ根市立東中学校2年生を代表し、別紙のとおり提出します。

令和4年3月4日提出

駒ヶ根市長 伊藤祐三 様

提出者	駒ヶ根市議会こども未来会議議員	藤井珠代
	同	安保心結
	同	小栗唯
	同	小高憲弥
	同	山田真瑞
	同	湯澤翠
	同	酒井紋奈
	同	木下亮
	同	澤崎那悠
	同	山田琉璃
	同	大沼優月
	同	清水葵漣
	同	佐藤由紀恵
	同	福澤琥生
	同	竹村嘉希
	同	久保田紀嘉

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	A1 まちづくり・イベント		
メンバー	◎小栗唯、臼井悠夏、小松愛彩美、林洋文	担当議員	中島和彦、加治木今

①駒ヶ根市の現状と課題

観光する場所が少ない、
限られている…
お店が少ない…
遊ぶところがない…
お金がない…



観光地の魅力の理解が薄い
観光客が少ない(中ア以外)



観光地としての取組が弱い。
地元の方々のこだわりがないのでは…

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

駒ヶ根市を「地元を思う愛であふれるあつあつの街」にしたい！

ふたつのアルプスが映えるまち駒ヶ根。素晴らしい山々や自然豊かな田園風景がある里山の魅力が見過ごされており、地元の人たちも魅力の認識不足でもあり、郷土愛をもとっと育てほしい。
このふるさとの里山を魅力ある観光地として位置づけ、駒ヶ根にしかないありのままの景観、自然、歴史、文化、温泉、食などの融合で癒されるまちとして多くの人に理解し感じていただきたい。

③どうやって…？

まずふるさとを知る機会(景観、自然、歴史、文化、温泉、食など)を作り、駒ヶ根全体が素晴らしいふるさとであることを共有する。

そのために、現在東中で行っているふるさとについて学習したり、ふるさとを愛する心を育む取組み「ふるさとの日」を駒ヶ根市全体に広め行いたい。

ふるさとを思う心を市民全員で共有し、ふるさとの良い所を再発見する。また、その場で地元の特産物やアイデア商品を直売、販売したり、カフェやイベントを行えば関心も高まり、多くの観光客や地元の人たちとの交流の場にもなる。

④実施できた場合の効果は…？

「ふるさとの日」を駒ヶ根全体で行うことにより、改めてふるさとを知ることができ、今まで気づかなかった所や、駒ヶ根にしかない宝が発見できる。

また、自分たちも良さを実感でき、観光者にも田舎の素晴らしさを伝えられる。そうすれば、駒ヶ根ファンと同時に観光客も増加し、人の交流や地元の名物ソースかつ丼、お土産品購入者等が増えて経済も潤うのではないかと考える。

そして、移住希望地にも繋がり、住みたいまちランキング1位と住みやすさ県内一番を合わせて目指すことができる。

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	A2 まちづくり・イベント		
メンバー	◎小高憲弥、片桐小春、小出来海、斎藤瞳美、林優乃、森田日向香	担当議員	加治木今、中島和彦

①駒ヶ根市の現状と課題

イベントが少なく寂しい。

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

駒ヶ根市をもっと楽しく、明るくするために「かっぱ祭り」を復活させる！
(たくさんの人達がかっぱ祭りの復活を望んでいる。)

③どうやって…？

- 寄付を集める……………自分たちがお願いをする。人通りの多いところに募金箱を設置する。
- 自分たちで屋台を出す…ふるさと学習で作成した食べ物などを販売する。
- 効果的なPRを行う……ポスターをもっとたくさんの方に貼る。
- シャトルバスを出す……バスがあればもっとたくさんの方が集まり、花火も多くの人に見てもらえる。
- マイクロバスを出す……かっぱ祭りに行きたくてもいけない人(老人)が使うことで花火や屋台が楽しめる。

④実施できた場合の効果は…？

- 下平・中沢・東伊那の交流の場となり、駒ヶ根市全体がにぎやかになる。
- 観光客の楽しむ場になる。
- 地域住民が楽しめる。
- お金が集まる。
- 結果として地域活性化になる。

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	B1 福祉・多様性		
メンバー	◎山田真瑞、春日麻緒、窪田茉秀、 下宮和空、丸山日彩	担当議員	中原茂之、池田幸代

①駒ヶ根市の現状と課題

- 駒ヶ根市の良さが地域内にしか広まっていない。
- 異文化交流の機会がほとんどない。
- 日本で二つしかないJICAが駒ヶ根にあるが広まっていない。

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

JICAとの交流を通して、世界の様々な文化を学ぶと共に駒ヶ根市の魅力を国内外に発信！
世界の文化を学び駒ヶ根市が住みよい地域となるよう考えていきたい。

③どうやって…？

東京オリンピックの「ピクトグラム」のようにお互いに分かりやすい国際交流を行う。

- JICAとの交流を図り、異文化を学び理解を深める。
- 異文化交流を通じて、今までと違う角度で駒ヶ根市を見る。

④実施できた場合の効果は…？

JICAの方々に駒ヶ根市の良さを伝えて世界に発信できるとともに、交流を通じて多様な世界があることを多くの人に知っていただくことで、住みやすいまちとは何かを考える機会となる。
また、新たな考えや発想が生まれ、より良いまちに発展していく。

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	B2 福祉・多様性		
メンバー	◎湯澤翠、有賀羽矢斗、大原絆士朗、小椋なな	担当議員	池田幸代、中原茂之

①駒ヶ根市の現状と課題

新型コロナウイルス感染症の影響により生活に制限がかかり、当たり前のことが当たり前でなくなってきている。仕事を失ったり、営業ができない店がある。また、親の収入が減少した結果、学校に通えないなど、子どもたちの生活にも影響が出ている。

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

お金がなくて困っている人を減らしたい！
全ての子どもたちが自分の希望する進路に進めるようになってほしい！

③どうやって…？

「ふるさとの日」を通じて参加者と交流し、学びながら相談しやすい環境をつくる。

- ふるさとの日に招待し、豚汁を提供。交流を図る。(招待については自分たちでチラシを作成したり、市報に掲載する。)
- 洋服と温泉無料券をプレゼントする。(洋服は東中で集める。移動には市バスを出す。)

④実施できた場合の効果は…？

交流を通じて人の輪が広がり、孤立せずに誰かに相談ができ元気になる人が増える。

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	C1 環境		
メンバー	◎酒井紋奈、久保田優太、小池真叶、 下平遼太郎、中城瀬那	担当議員	氣賀澤葉子、竹村誉

①駒ヶ根市の現状と課題

- ①ごみが道路や河川に落ちている(天竜川、火山峠、田畑など)。
- ②土砂災害の対策があまりされていない。森の管理ができていないところがある。

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

- ①ごみのポイ捨てがなくなってほしい！
- ②森を適切に管理し、地球温暖化の抑制や土砂災害が少なく安全なまちになってほしい！

③どうやって…？

- ① ・地域の人が集まってごみ拾いを行う。
 - ・市民に駒ヶ根市のごみの現状を知っていただき、ごみのポイ捨てをしないように、ポスターなどを作成し、市役所の玄関や店舗等に貼って周知する。
 - ・オシャレなデザインのごみ箱を多く設置する。
 - ・ごみ箱の数についてはごみ収集会社の方と話し合って決める。
- ② ・森林をきれいにする事で、水環境などを改善する。
 - ・ハザードマップを使って、家族や学校で避難経路を頭に入れる話し合いや、実際に歩いてみるなどの対策をとる。
 - ・市として森林整備に取り組む。

④実施できた場合の効果は…？

- ①道路にごみが無くなり、綺麗になって住みやすくなる。
- ②森の管理ができると環境がよくなる。
- ③市民に駒ヶ根市のごみの現状を知っていただくことで、自らが意識し、ごみの減量・分別・再利用を考えるようになる。

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	C2 環境		
メンバー	◎木下亮、石川寧桜、春日良太、 北村芽珠、藤澤弥月	担当議員	竹村誉、氣賀澤葉子

①駒ヶ根市の現状と課題

私たちが暮らしの中で環境問題を考えたとき、毎日通う通学路や生活道路から見た課題が見えてくる

- 通学路や歩道などの道が暗い
- 道路沿いの雑草が気になる
- 道路や沿線に落ちているゴミが気になる
- 空き地が気になる

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

道路沿線の環境美化が保たれ、ゴミが落ちていない駒ヶ根市！

③どうやって…？

- まちを照らす街灯を景観やエネルギーの無駄遣いに配慮し、必要な場所を特定して設置する。
- 草をできるだけ刈らなくて済むように、毎年季節が来れば綺麗に咲く球根の花を道路沿いに植る。
- ゴミはゴミ箱に捨てるよう、空き地を活用して、分別や管理に配慮したゴミステーションを設置する。
- 気になっている空き地に、街灯に必要な太陽光発電やゴミステーション、球根の花咲く公園をつくる。

④実施できた場合の効果は…？

街灯でまちが明るくなり、道路沿いの雑草も球根の綺麗な花に置き換わることで綺麗なまちになる。ゴミのポイ捨ては減り、空き地を活用したゴミステーションや街灯の電気を生み出すソーラーエネルギーや球根の花咲く公園が、空き地をなくし活かす対策になる。

4つの課題を関連づけた対策が相乗効果を生み、明るく、綺麗で、空き地が活かされた、自然にも景観にも優しく、暮らしやすく、防犯にも優れたまちになる。

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	D1 農業		
メンバー	◎澤崎那悠、有賀万琳、北村空音、竹村基誉成、藤井珠代	担当議員	小原晃一、宮下稔

①駒ヶ根市の現状と課題

- 農家収入が少ないことや少子高齢化の影響により、農家の後継者が減少しており、使われていない畑や田んぼが多く見られる。
- 県外産や海外産のものを買う人が多いことなどにより、日本全体でみても先進国の中では、食料自給率が37%で非常に低い状態にある。
- 市内で生産された農産物や加工品が家やお店で使用されることが少ないと感じる。

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

様々な農業体験を通じて、たくさんの人が農業に興味を持ってもらえるように！
地元農産物を使った新たな商品開発を！

③どうやって…？

1. 子どもから大人まで誰でも参加できる「農業体験」を行う
 - ア. 体験場所として、市内の使われていない畑を借りる。
 - イ. 農家の方々に、教わりながら作物を栽培する。
 - ウ. 栽培する作物は、「様々なものに加工できるもの」・「初心者でも育てやすいもの」を基準にする。
 - 「一度に沢山取れる作物」 = ナス・キュウリ・トマト
 - 「世話なく育つ作物」 = ニラ・三つ葉・シソ
 - 「何回も収穫できる作物」 = ワケギ・モロヘイヤ など
2. ウの作物の中から、土地や季節に合わせて選び、栽培する。
3. 豆腐・しょう油・みそ・きな粉・油あげなど様々なものに加工できる大豆を栽培する。
4. 生産した作物を様々な商品や特産物に加工できる施設を造る。

④実施できた場合の効果は…？

- 植え付けから収穫まで、農家や市民が協力し合い農業を体験してゆく中で「農業の楽しさ」に気づき、興味を持つ人が増え、後継者が増加し畑の再利用が可能となる。
- 市内で生産された農産物が、市内の家やお店に流通して「地産地消」が増え、ゆくゆくは「食料自給率」がアップする。
- 「一度にたくさん取れる作物」「世話無く育つ作物」「何回でも収穫できる作物」「様々な加工できる大豆」を栽培することにより、生産力が上がり加工品や特産品の生産・販売につながり、農家の収入が増える。

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	D2 農業		
メンバー	◎山田琉璃、小出一歩、中野ことは、 羽柴りえ、森田一士	担当議員	宮下稔、小原晃一

①駒ヶ根市の現状と課題

- 少子高齢化・人口減少で、駒ヶ根市に元気がない。
- 農家が減少している。高齢者が農業をしている。若い農業者が少ない。
- 市内の農家数は1,345戸(約11%) → 自給的農家771戸(6.2%)販売農家574戸(4.6%)
- コメの生産量が一番多く、次に野菜の生産量が多い。
- 水がきれい

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

子どもいっぱい！若者・お年寄りが元気で楽しく過ごせるために、農業から変えていこう！

- アスパラガスを全国に広めたい。
- 私たちが好きな野菜、果物を育てたい。
- 牧場を作って、駒ヶ根牛を育て有名にしたい。

③どうやって…？

- 道の駅で販売する。道の駅を作って農産物の販売を行い、多くの人に買ってもらう。
- タレント「もう中学生」さんに駒ヶ根の野菜・果物のネタを作ってもらう。
- CMを制作して広くPRし日本一を目指す。
- アスパラガスを生産する。
- 市内のアスパラガス生産農家さんに話を聞き、生産者、面積、生産量を増やす。
- 農業体験ができるイベントを開催する。
- 農地を貸すシステムを広げる。

④実施できた場合の効果は…？

- 有名になることで、観光客や移住者、、田舎暮らしをしたいと思う人が増える。
- 全国から農業をやりたいと思う若者が集まる。
- 農業が盛り上がり、農業をやりたいと思う人が増える。
- 農業者が増加し、人口や子どもが増える。
- 駒ヶ根市が元気なまちになる。

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	E1 観光		
メンバー	◎大沼優月、原万由香、松崎平、水村稜希、 宮城歩優、山田一翔	担当議員	塩澤康一、池上善文

①駒ヶ根市の現状と課題
<p>○人口減少や少子高齢化などによる消費や労働力の減少</p> <p>○「駒ヶ根と言えば○○!!」というものがない</p> <p>○地元のものを使った映えるお店がない(生かしきれていない)</p>
②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)
<p>たくさんの人に駒ヶ根市の魅力を知っていただき、リピーターやファンを増やしたい！</p>
③どうやって…？
<p>○誰もが二度見するようなシンボルを作る。</p> <p>○空き店舗を探し許可を得て、自分たちで内装やメニューを考える(東伊那の美味しい果物を生かす)。</p>
④実施できた場合の効果は…？
<p>○観光客(リピーターやファン)が増える</p> <p>○地域の方とのふれあいの場としても活用することで地域が活性化され過疎化が止まる</p> <p>○市の借金が無くなる</p>

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	E2 観光		
メンバー	◎清水葵漣、安保心結、大島璃愛、 酒井優美、堀祥太	担当議員	池上善文、塩澤康一

①駒ヶ根市の現状と課題

「全国住み良さランキング2021」で駒ヶ根市はなんと12位!

↓

しかし、市民満足度調査では、「市政に市民の声が反映されている」「中心市街地の活性化に向けた取り組みが行われている」という項目で、満足度が低い結果となっている

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

今よりもっと住みやすく、全国から観光客が来るように！

③どうやって…？

○かっぱ祭りなどのイベント復活(新たなイベント企画)

→ステージ企画、駒ヶ根産果物などを使った屋台出店、東中で企画する屋台出店など。

○プールなどの公共施設を復活

→子供のゲーム依存防止にもつながり、家族や友達で行くという楽しみができる。

④実施できた場合の効果は…？

「かっぱ祭り」の復活により、老若男女全てが集まり、「あと〇日でお祭り！」というように楽しみが増えると同時に、友達や家族と行く楽しみが増え、地域活動に参加しやすくなる。結果的に観光客も増加し地域活性化にもつながる。

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	F1 教育		
メンバー	◎佐藤由紀恵、飯島陽日来、斎藤柑夏、馬場光世、福澤嵐太	担当議員	竹村知子、小原茂幸

①駒ヶ根市の現状と課題

○市内の公衆トイレや東中学校のトイレが臭く、汚く、暗く、狭い

○洋式トイレが少ない

<参考>東中学校トイレに関するアンケート結果より
 トイレの環境が良い 33.1%
 トイレの環境が良くない 66.9%

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

東中学校のトイレを改装し洋式化を！

日本一トイレがきれいな駒ヶ根市に！

③どうやって…？

①先生や生徒を対象としたアンケートを通じて、トイレの状況(匂いの原因など)を調査



②最新の公衆トイレを視察し、改修費用を見積もる



③「臭いトイレは好きか？」をキャッチコピーにクラウドファンディングをしたり、廃品回収などで資金を集め、市長や教育長に要望



④トイレを改装(洋式化し、タイルではない掃除のしやすい床に)する

④実施できた場合の効果は…？

○東中学校のトイレが「グッドトイレ」に認定され、トイレに対する意識が高まる。

○生徒も先生も来訪者も幸せで健康になる(「トイレを綺麗にすると良いことが起こる」イエローハット創業者)

【好循環】トイレがきれい→掃除したい→ずっときれい→匂わない→最高！

【悪循環】トイレが汚い→掃除したくない→きれいにならない→臭い→最悪…

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	F2 教育		
メンバー	◎福澤琥生、赤羽小夏、澁谷晃太、堀内太駿	担当議員	小原茂幸、竹村知子

①駒ヶ根市の現状と課題

- 制服がダサい、地味
- 男子は学ランだから重い

<参考>東中学校制服に関するアンケート結果より

このままが良い	21人		
特に思っていることがない	52人		
不満がある	88人	→ デザインが不満	66人
		制服が重い	30人
		制服自体不満	21人

(※複数回答)

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

東中学校制服の改善を！

- 男子はブレザーにしてほしい
- 女子はデザインの変更とリボン又はネクタイを付けてほしい

③どうやって…？

- ①制服について全校生徒を対象にアンケートを実施する
- ↓
- ②周辺の学校の制服を参考にデザインに関わるアンケートを実施する

④実施できた場合の効果は…？

【男子】ボタンの数が減り、軽くなり、着やすく体への負荷が少なくなる
 【女子】可愛くなると同時に学校への愛着がわく

↓

東中生徒が学校に愛着を持つと同時に東中を希望する生徒が増える

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	G1 文化・スポーツ		
メンバー	◎竹村嘉希、有賀迅、下平拓実、堀内俠真、松崎孔哉	担当議員	三原一高、松崎剛也

①駒ヶ根市の現状と課題

- 過疎化、少子高齢化、コロナ禍などの影響によりスポーツをしている人が少ない
- 過去に長野県で国体が開催された際、駒ヶ根市はホッケー会場だったこともあり、赤穂中学校などにホッケー部がある

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

駒ヶ根をスポーツの盛んなまちに！

- ①ホッケーのまち
- ②eスポーツのまち

③どうやって…？

- ①ホッケーが大好きな人、駒ヶ根でホッケーをやりたいと思っている人を迎え入れる
- ②eスポーツでまちおこし
 - ・eスポーツ大会の開催
 - ・eスポーツ施設の建設

④実施できた場合の効果は…？

- ①全国的に有名なまちとなる
- ②若い世代が集まり、少子高齢化の解消とともに経済面でも潤う

駒ヶ根市議会 こども未来会議 「こんな駒ヶ根市にしたい！」

◎:代表者

グループ	G2 文化・スポーツ		
メンバー	◎久保田紀嘉、赤須由菜、潮田滉知、北原青依、中原大地	担当議員	松崎剛也、三原一高

①駒ヶ根市の現状と課題

- コロナ禍もあり、中学生は行事が少なく寂しいと感じている。
- 文化・スポーツなどのイベント情報の共有ができていない。(情報発信が届かない)
- かっぱ祭りがなくなったことで、市で唯一の打ち上げ花火大会が消滅。
- 竜東地区で楽しめる祭りがなくなってしまった。
- 夏の風物詩であり、郷土愛にもつながる打ち上げ花火や祭りの文化が消えていく。
- 東中学校生徒の地域貢献活動(ボランティア)、ステージ発表、楽しみへの参加の場が減少した。

②こんな駒ヶ根市にしたい(こんなことができるといい、こんなふうになってほしい、こんなことをやりたい…など)

夏の風物詩であり郷土愛にもつながる「花火大会や祭りの文化」を大切にしたい駒ヶ根に！
かっぱ祭りのような花火大会の復活を願い、竜東・下平地区を盛り上げ、中学生も楽しめる地域に。

③どうやって…？

- 竜東地区を盛り上げるために、市が花火大会のある「サマーフェスティバル」を開催。
- スプリングフェスティバルのように行政が様々な市民をつなげ、竜東地区でイベントを企画する。
- 地域イベントには東中生も様々な学習の発表の場や、地域貢献活動(ボランティア)の場として参加し、学校で作製した特産品などの販売や、ステージ発表、スタッフとして参加する。
- 情報発信は有線放送、SNS、HP、小中学校のお便り、ポスターチラシなどにQRコードを掲載し、広くPRする。
- 小中学校で大型モニターやタブレットなどで動画配信する機会を増やしPRする。

④実施できた場合の効果は…？

- 市民が駒ヶ根市の魅力を再発見する機会となる。
- 竜東地区だけでなく駒ヶ根市の地域活性化につながる。
- 花火大会や夏祭りを通して日本の文化を好きになり、郷土愛にもつながる。
- SNSや動画配信で駒ヶ根市を知る人が増え、関係人口増加につながる。
- 情報が市民に届き、文化・スポーツが盛り上がることで活力に満ちた駒ヶ根市になる。